



WEEKLY BULLETIN

2019年5月23日(3320例会)(創立68周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3234



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

2018～2019年度 バリー・ラシン RI会長テーマ

■呉RC 2018～2019年度テーマ 「感即動」

会長 森澤大司 幹事 太刀掛祐之 会長エレクト 志々田幸治
副会長 楠孝三郎 幹事 向井淳滋 会場監督 石田直樹
直前会長 神垣和典 会計 向井淳滋

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

新会員卓話 日下美穂君
大之木小兵衛君

次週のメインプログラム

外部講師
「山縣亮太オリンピックへの道」
広島テレビ放送(株)報道制作局
報道部 村上達也様

第3319例会記録【5月16日(木)】

【プログラム】 ◇外部講師

株式会社 広島銀行 代表取締役会長 池田晃治様

【出席率】 5/2の補正 休会 今回 88.06% (会員71名・欠席8名・免除4名)

【来客】 ◇外部講師 株式会社 広島銀行 代表取締役会長 池田晃治様

◇国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター病院 院長 下瀬省二様(大村一郎君、松田修典君、住田佳樹君のご同伴者)

【他クラブ出席者】 ◇哇君(5/9北海道2500ロータリーEクラブ) 志々田・大塩・尾川・山村・多賀・島村・井上・稲葉・中野・神田・大之木(精)君(5/11RI第2710地区研修・協議会) 大上君(5/13ワールド大阪ロータリーEクラブ) 13名

【欠席者】 ◇荒川・海生(知)・武田(信)・武田(正)・長行事・堀口・増岡・向井君 8名

【出席免除者】 ◇奥川・大矢・尾田・海生(孝)君 4名

【幹事報告】 ◇(公財)ロータリー米山記念奨学会…ハイライトよねやま No.230(回覧)

◇RI第2710地区 地区戦略計画委員会 大之木精二委員長…「こちら、地区戦略計画委員会です(レポート第8号)」(回覧)

◇本日予定していた武田正視さんのレジェンドセミナーは諸事情により延期となりました。

【委員会報告】 ◇広報・クラブ週報 神田健治委員長…週報のペーパーレス化について(配布)

◇出席・プログラム 岩本委員長…4月の出席報告。4月平均93.89%

通算平均出席率93.26%

5月・6月の例会紹介

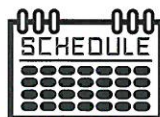
【S.A.A】 ニコニコ



◇長尾龍一君…歴史と伝統ある呉ロータリークラブの入会をご承認いただきましてありがとうございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

◎ニコニコ基金累計金額 1,761,000円

【今週の予定】 ◇5月23日(木) 13:40～ 第2回クラブ協議会 呉阪急ホテル



「令和」という年号



大村一郎

「令和」の年号が新しく即位された天皇の代とともに始まるがこれが万葉集からとられたといふことは多くの方から支持され、喜ばれているように思ふが、戦中派の人達には命令を思い出して不快感を持つ人もいる。

しかし「令」を広辞苑で引くと昔から「よいこと」、「めでたいこと」と書いてあり「漢和辞典」から「令月」をみると「旧暦二月を昔は言ったがその後一月さらに現今は一般的に麗はしい月」と書いてある。年号に「令」が入り忌まわしい戦いの思い出を消し去る意味ではとてもよかったのではと私は思っている。

万葉集をまとめた中心人物は^{おおとものやかもち}大伴家持ですが、今回「令和」という年号がひき出された文はそのお父様^{おおとものたびと}大伴旅人の文章です。（異説もある）天平二年西暦七三〇年旧暦一月十三日、^{みよたびと}聖武天皇の御代旅人は九州大宰府の長官でした。

その旅人が自宅で観梅の歌会を開き九州全域と対馬・壱岐の計十一ヶ国^{くにのかみ}の國守（知事）と高官達三十一名を招待し主人大伴旅人を含め三十二名が三十二首を歌い継ぎました。この時の状景を美しく楽しく紹介したのが「序文」です。

その書き出しに今回の「令和」があります。

「梅花調卅二首 [并序]

天平二年正月十三日、^{あつむそちろう}萃于帥老之宅、^{よく やはらぐ ひらく ふんを}申宴會也。于時、初春令月、氣淑風和、梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」

と漢文で書かれています。万葉集は歌は万葉仮名という漢字の^{あてじ}当字ですが前後にある説明文例えは序文・題詞・左註はすべて漢文でした。万葉集以后民衆に仮名文字すなわち日本文字が広がっていきます。そして言葉が日本字になりました。

序文の和訳は『天平二年正月十三日に^{そちろう いえ あつま}帥老の宅に萃って宴会を^{ひら}申く。時に初春の^{れいげつ}令月で、気（空気、雰囲気）はとても^よ淑く、風はおだやかで梅は美人の鏡の前にあるお^{しろい}白粉のように白く・・・です。この観梅会の歌を二首だけ紹介します。

^{ちくぜんのかみ やまのうえのおくら}筑前守 山上憶良は

春されば まつ咲くやどの 梅の花

ひとりみつつや ^{はる ひ}春日暮らさむ（五－八一八）

（はるが来たら まっ先に咲く お庭の梅の花、この花をただひとり見ながら、長い春の一日を暮らすのであろうか）

次に主人 ^{だざいのそち おおとものたびと}太宰帥 大伴旅人

我が園に 梅の花散る ひさかたの

天より雪の ^く流れ来るかも（五－八二二）

（私達の庭に梅の花がしきりに散っている ^{はる}遙かな天から雪がちらちら降ってくるように）

こんな歌に導かれて三十二首が歌はれた花見でした。

あらためて「令和」を考えてみると、「令」は美しい、麗はしい。「和」は大和・日本です。「麗はしの日本」と読んでは如何でしょう。